

別紙3. 中部山岳国立公園パートナーシッププログラム取組提案代表例

目的 中部山岳国立公園管理事務所と企業・団体が相互に協力し、日本が世界に誇る**中部山岳国立公園の美しい景観とそこに滞在する魅力**、さらには**国立公園のブランド価値を維持・発信**することにより、**自然環境の保全と利用の推進を図り**、当公園の所在する**地域の持続可能な地域づくりに繋げる。**

締結企業・団体

33者 2024年9月時点



第一回パートナーシップ締結式

【第1回締結（2020年12月）11者】

【第2回締結（2021年7月）5者】

【第3回締結（2022年3月）5者】

【第4回締結（2023年7月）5者】

【第5回締結（2024年9月）5者】

取組提案代表例

- | ①ブランド価値の向上に繋がる取組 | ② 利用促進に繋がる取組 | ③保護と利用の好循環を意識した取組 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ▶ ビールラベルに中部山岳国立公園南部地域コンセプトロゴマークを添付 【松本ブルワリー】 ▶ 北アルプスエリアの山小屋の歴史を辿る「そこに山小屋を興して」を連載 【双葉社】 ▶ 岐阜新聞社の市街地交流拠点「岐阜新聞ニュースパーク」（岐阜市）で中部山岳国立公園の写真展を開催。 【岐阜新聞】 ▶ 店舗2階特設会場にて、夏シーズンにアクティブレンジャー展を開催し、中部山岳国立公園をPR。 【カモシカスポーツ】 ▶ ポストカードに中部山岳国立公園南部地域コンセプトロゴマークを添付 【信州ミルクランド】 ▶ 携帯トイレの包装に中部山岳国立公園南部地域コンセプトロゴマークを添付 【エクセルシア】 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ サッカー観戦×中部山岳国立公園で行う体験コンテンツ・ツーリズムでの連携 ▶ マスコットキャラクター「ガンズくん」による当公園のPRイベントの実施 【㈱松本山雅】 ▶ 全国（仙台、東京、名古屋、飛騨高山、大坂、福岡）で展開する家具ショールームを活用し、中部山岳国立公園の魅力などを紹介。 【飛騨産業】 ▶ 「北アルプストレイルプログラム」を紹介する動画を信毎メディアガーデンにあるサイネージにて放映。共同制作の中部山岳国立公園紹介動画は通年放映 【信濃毎日新聞】 ▶ HPやSNSにて中部山岳国立公園を紹介。店舗へ中部山岳国立公園に関するパンフレットやポスターを設置 【各パートナー】 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 売り上げの一部を自然環境保全のために寄付予定。 【大信州酒造(株)】 ▶ 中部山岳国立公園を有する松本市安曇地区を主体地域として、「ながぎん地域応援隊」を設置し、関係機関、地元事業者及び地元住民様とともに地域活性化を目的に活動。 【長野銀行】 ▶ 契約者のうち乗鞍高原への支援希望を選択した方の電気料金の1%が中部山岳国立公園乗鞍高原地域の環境保全や地域活性化など地元のために使われるような「のりくら高原ミライズ基金」を設置。 【八チドリ電力】 ▶ 乗鞍高原などの木材を活用した展示パネルを作成し、沢渡NPGへ設置。展示を通じて「Kita Alps Traverse Route」が目指す世界観を紹介。 【やまとわ】 |